授業科目 高齢期障害作業療法学演習

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科		作業				
┃ ┃ 能村 友	記紀	開講時期	後期	必修選択		必修			
nc1) X/III		単位数	1	時間数	30				
【ディプロマポリシーとの関連性】									
知識・理解	知識・理解 思考・判断 関		関心・意欲態度		度	技能・表現			
©	0		0	0		©			

【概要・一般目標:GIO】

- 1. 高齢者に対する作業療法の対象者特性を理解する
- 2. 高齢者に対する作業療法介入に必要な基礎知識・技術を習得する

【学習目標・行動目標:SBO】

- 1. 高齢者に対する作業療法の役割とプロセスを説明できる
- 2. 高齢期の作業療法の援助技術について説明できる.
- 3. 個別・集団における作業療法プログラムが立案、実施することができる

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高齢期作業療法援助	1	講義(能村)、担当:能村 友紀
2	身体活動援助法(1)	2	演習(能村)、担当:能村 友紀
3	" (2)	2	演習(能村)、担当:能村 友紀
4	作業活動(1)	2	演習(能村)、担当:能村 友紀
5	" (2)	2	演習(能村)、担当:能村 友紀
6	集団活動(1)	2	演習(能村)、担当:能村 友紀
7	" (2)	2	演習(能村)、担当:能村 友紀
8	在宅での高齢期作業療法の実際(1)	3	講義(大越満)
9	" (2)	3	講義(大越満)
10	事例演習(1)評価	3	演習(能村)、担当:能村 友紀
11	〃(2)問題点抽出	3	演習(能村)、担当:能村 友紀
12	" (3) 作業療法計画立案	3	演習(能村)、担当:能村 友紀
13	〃(4)作業療法プログラム作成	3	演習(能村)、担当:能村 友紀
14	〃(5)プログラム実施	3	演習(能村)、担当:能村 友紀
15	まとめ	1~3	講義(能村)、担当:能村 友紀
	【使用図書】 〈書名〉 〈著者名〉 〈	— 発行所>	◇ <発行年・価格 他>
$\overline{}$			

【使用凶書】	く書名>		く者者名 <i>></i>	<発行所 <i>></i>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	高齢期作業療法学	第2版	小川恵子編	医学書院	2010・3, 990円
その他の資料					

【評価方法】

【履修上の留意点】

出席が3分の2以上で、かつ期末試験の点数が60点以上とする。

出席が3分の2以上で、かつ期末試験の点数 │ 高齢期作業療法の援助法について実技を中心に行います.